

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 18日から19日かけて、日本の東を高気圧が移動する。前線が東シナ海から日本の南を通過して日本の東にのびる。
- 20日から22日にかけて、次の前線が東シナ海から日本の南を通過して日本の東にのび、低気圧が日本海を進む。

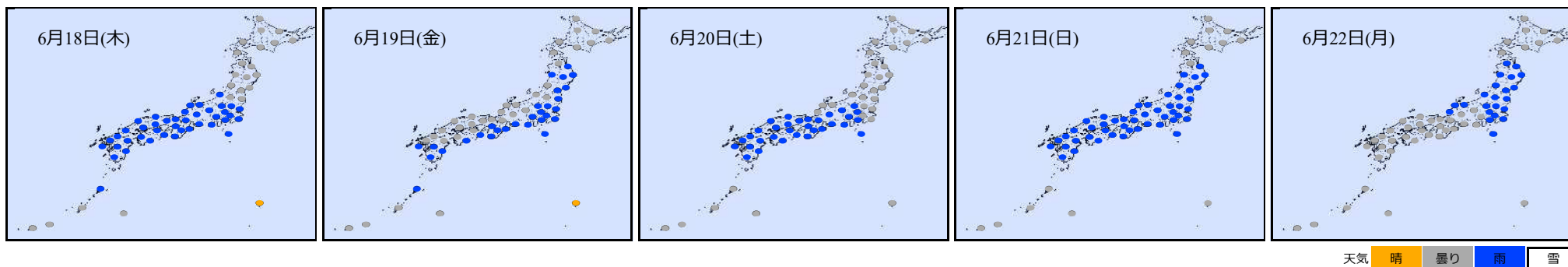
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

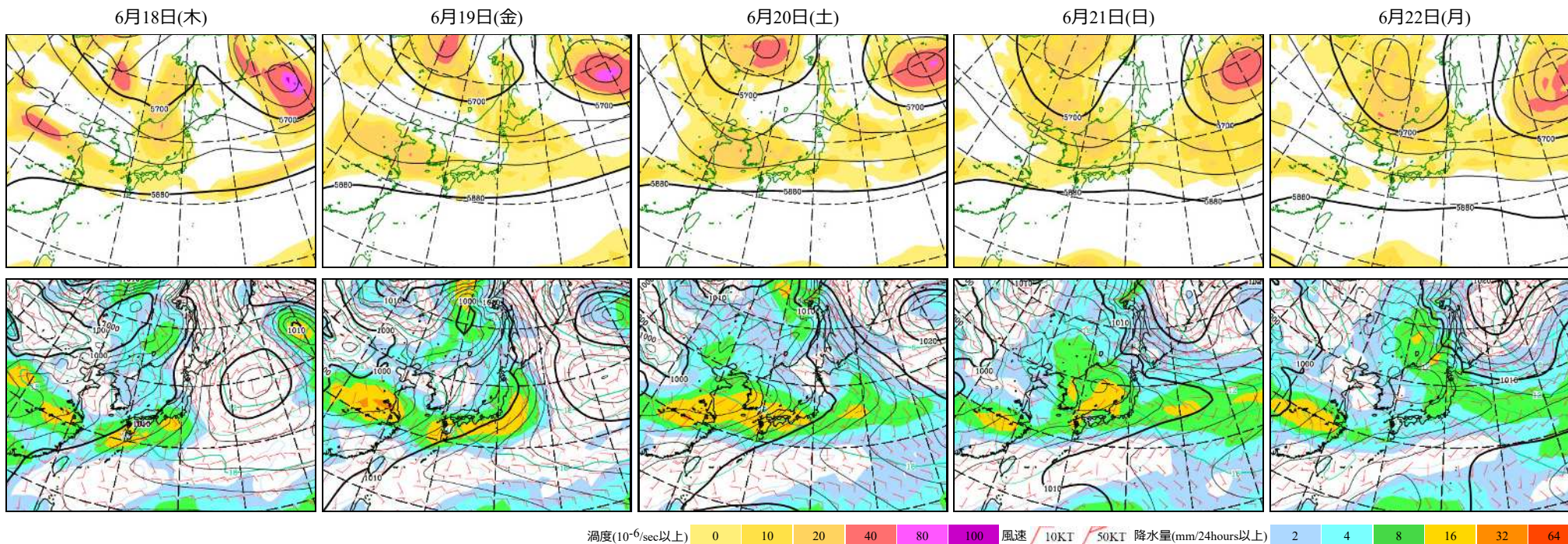
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

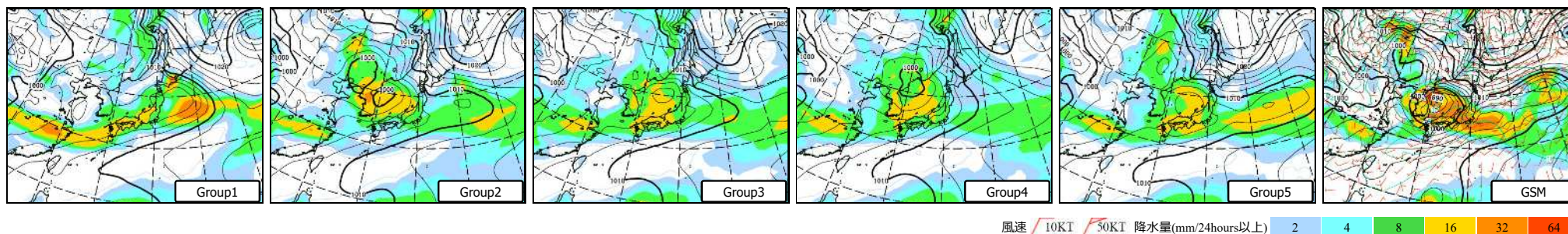


- 北日本、東日本、西日本は曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は曇りの日が多いが、18日と19日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆6月21日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、19日以降バイカル湖の東から中国東北区に進む寒冷渦および周辺のトラフが早まり、深くなった。20日以降に本州南岸付近へのびる前線や日本海へ進む低気圧が明瞭となり、降水範囲の東への広がりが早まった。
- モデル間の差は4日目から次第に大きくなるも、21日頃から日本海にトラフが進む傾向は揃ってきた。
- アンサンブルは、21日から22日に日本海を進む低気圧を明瞭に予測するメンバーが多いが、そうでないメンバーもある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考えるが、21日以降に日本海を進む低気圧の位置等は海外モデルも参考にする。